

本委員長 本件も歸心集のものであるが、この線により進めたいことを
生ずる。

四、鋸谷戸道路改修の件。

猪俣技師、四面掘り、設計。

延長三三〇米、巾六米、工費概算一三九千五百

計画路線と決まらず。

又、本件は一応將來の予定路線としており、頂きたいことを生ずる。

五、福生駅東口道路改修の件。

お屋敷、四バ、お屋敷より於て五五路、この間の改修については、商参申入れて

あるが、未だに出来ず、非常な危険であるが、自分の土地の提供は

いとけ、お屋敷が、高橋ハム、の表道路、通すると、決まらず、頂きたい

本委員長、とりあえず、於て道路の工事を緊急とする。それより、向ふは

これを改修することより、自から出来ることがある。

東京都西多摩郡福生町役場

東京都西多摩郡福生町役場

本委員長、急遽に、形勢測量をすること。

又、お屋敷、お屋敷より、お屋敷の相違することにより、お屋敷を生ずる。

又、学校取付道路の件。

又、お屋敷、お屋敷の所管とては、お屋敷の取付道路のみと、他の道路

は、建設委員会に、お屋敷の一方が、お屋敷の一方であるが、一応、検討、お屋敷

をい

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷の取付が、お屋敷、お屋敷

本年は道路修理や下水掃除と主眼命やるから補助金を増
てくれとの申し入れもある。

本市団のありとくは産業衛生面もあるが建設関係では道路
修理である。団とくは市二面位なら全員の労力奉仕は出来
るとの答弁がある。市とくは本市団の具体案の提示を求め
検討したい。

補助額は一万市増を望んでいる。

委員長、従来のやり方では意味なさそう。でその費用は、砂利を要する
ものが効果的であるといふことから、昨年から廃止したのが、国の目
も考えなくてはならない。市は結論は出ない。

お互いよく研究しておくこと。

八、分水路補修費の援助の件。

田用水分水路

分水路現地をみて決意すること。

九、市営住宅建設戸数について。

昭和三十三年分より、三ヶ戸建設予定とすること。

五、八ヶ戸線東福生踏切道拡充の件。

工事費として三三万の支出することと報告し承を求め。

二、自動車（ハイヤー）組合からの申し附について報告。

市長、五ヶ戸を道の組合の人が持参した。条件付か不口を問いた
ところ無文の件。と云ふことで一時期をいふと報告する。

以上

[illegible]

委員會結果報告

場所 福生町役場第三会議室

清水市田村新之

書尾撞吉
麥田詩急

木尾四郎

多川常太郎

子長秋山詩
主在猪候博吉

羽後川窪金土

課長 常水 求

會議事項

一、街路を面切下げの件につて

み良より牛返を梅橋町の街路がまき梅橋がわで
ななな

ては、その土地の所有者は、その土地の所有者である。

いるが、これをなんとも処置しなくてはならぬ旨説明する
森田 切下げて出てくる土砂を活用すること。
石川呉服店では先に「で」自分の所有の土砂を盗んだが、
「と」交際した。たゞ、返すと云ういたと云いが、それはどうしてい
るか。

猪俣 それは地方のたの閑係である。

助役 切下の閑係につくはたましくあつた閑え田中、エを
が建築するらしい。若し切下げるなら、それをやりて
頂きたい。そのやり、残土は頂戴か。はい、尚その後は、
指示通り、路面を補修して置くこととする。
相尾 現況を視察すること。

現坊視察、右左に回り決まる。

委員長 田中、代に松下げることは、適当でない。

鈴木組を呼んで新造とたいあつて、よりよく仕上げるよう。

東京建設局の調査報告書

文書のつみること

二、昭和三年、街路築造工事、追加の件。

市長 工事の工事とは、三万五千方米で、七五万五千方の補給を受けること

になつて、いるが、工事の閑係で、三万五千方に満ちた。満ちた場合、
は、何をする工事を、約五万五千方の追加工事とする。

助役 残額で、五万五千方の閑え、工事の境界、用コンクリート

ブロックの施設を考へて、いる。

森田、 工事の閑えも、砂利を敷く頂きたい。 街路が、さうなつた、(き地の)

排水のことも考へて、頂きたい。

現地を視察する。

相尾 田中、盛土の区、内えは、玉石を基礎として、入れること。

委員長 五日市、砂利より、上の熟分には、玉石を入れることに決まる。

市長、 町の建設局え、たゞ、色を打合せて、することにする。

三、福生公園の事業報告書の延長について

町長 福生公園は事業を以て工作物全般と植栽が一段完成するが
却て計画と違ふとは未若干残がある 公園にはグラウンドも入る
まわっている

都市計画税は街路えらふを以て使用料にあり
公園事業を継続してあるか、どうか

委員 ところで放任するのはよくない

委員 補め対象事業として、一筆、二筆、継続してやることに決ま
四福生駅西口広場拡張のことにして

委員 昨晩商店街で相談があり、私もそこへ出て向いて話を
商店街としては、下に轄で建設委員会を主軸としてやるべき
いよいよ考えであらう、それでは非常に早く、そんな考
えではどうして目的の完遂は望まぬ、商店街が速く、速く

東京都西多摩郡福生町役場

東京都西多摩郡福生町役場

たづねであることを力説した

それ商店街としては総合を南に、目的完遂に邁進
する、ことにしようとの結論であった

助役 それにしても商店街が主軸となることはなぬである

委員 柳屋としてもいろいろ計画があることであらう、早急に
話しを進める必要がある

委員 信用金庫のほうの計画は、

田村 吉雲代のところから約九割の内部である

尚柳屋としても話し合ふ必要がある、能力にはある

委員 商店街の中心として推進してゆくことがよいであろう

以後これを援助する方向に進んだら

委員 その通りで商店街が自らの方向に進む様になる
ければ駄目である

本員長 信用金庫 には、副がとが密接な関係があるが、
ふたつとは陰に陽に、協力するふいふと生ずる
本件については結論は必ずしも、商店街の出来を待つ……
五、田用水路改修費補助の件
申請人 福生町土地改良区理事長 安本益雄
現地視察の結果、資材費程を支給することに決ます。
一五、〇〇〇円程。
大内分水路補修費の援助方法として
申請人 ゆきやめ会会長 山崎 政雄 外
現地視察の結果、山崎に面する部分のみは、山崎を以て補修
することと原則とすることに決ます

以上

記録責任者

建設委員会結果報告

市長		副市長		課長		主任		出席		欠席	
年 日		昭 和		年		月		日		時 分	
自 由		三 時		五 〇 分		場 所		福生町役場第三会議室			
三 時		四 時		四 〇 分							
員		瀬古清義		高橋多市							
		木尾四郎		田村利一							
		木尾種吉		妻田誠一							
		石川信義									
		清水多市									
		長秋山謙人		主任猪俣浩吉							
職 員		助役川窪金吉									
		課長吉沢 求									

会議事項

昭和三十三年度土木関係予算の審議
課長 概要説明



市長 新築改築費で失討の労力を以て懸念する道路を施
工せしむ。鯉野橋については現在のところ敷金補めは不の故より
尚今後強力に補めの獲得については運動をする。
一心松中補修をして一五〇万の計にしたい。

新堀橋については新橋梁課の設計により施工したい。工費の
負担についてはアサノホールと話し合いをい。

都市計画については瑞穂町、両河と共に、福生都市計画を設
すべく美保町の同意見の一致をみて居り、三ヶ市共同で
五十分の一の地図を作成することにしたい。

公園については補め金が未定であるが、この負担の計と
であるが、了解するつもり。

森田、都市計画の橋梁補めの見送りと着工の時期について、

市長補めの確めは秋頃になると思ふが、以前建設省等から確約があ
れば着工するが時期は、はつきりしない。

市田 踏切の件は

市長 予算に計上するものが申請してある。中でも一金額も多額
に上ると思ふ。加美の踏切も金額がけつり、一千万の計上するとい。

委員長 本予算に計上すると思議あるかを語り、全員異議なく決ま
する。

二 昭和三十一年度追加変更の予算の件、

市長 五万のものは八宮線踏切の拡張費、また、^{福生}中補貯水池補償料、
新堀橋設計委託料。都市計画協会の負担金、失討金、未定金等、
である。

委員長 本件について異議あるかを語り、全員異議なく決ま
る。取り決まることを告げる。

三 中一小学校分校取付道路の件、

委員長 取付道路はこの際築造すべきであると思ふが、

お屋白郎 工事をなさる。周囲道路と井上氏西側の道路拡張と同

時々やるべきである。

現地につき検討する。

助役 周囲道路につきは近々入れとなるので井上氏西側の道

路改修につきは矢対する事業として施す方針にありと承

員の了解を得る。

四、委員長より左の通り発言あり。

一、福生駅東側(田代)の道路改修につきは至急計画をもち、
自費を上げ

二、

二、秋迄九五号線側溝流末処理がけの側溝を放流することに

なす。この際、この部分を同時に改修し、敷くべく要請書を主

要地方へ送り提出すること。道路局長も了解済である。

三、成木の隧道掘さくにより生じた石が敷砂利の代用として必要

なら、今元無償払下げからとのことであるから、今元とどう
いふ。

本件につきはよく現物を見てからにすることに決まる。

委員長 以上を以て、本日の委員会を閉ずることを告げる。

委員長 これより、小学校分校交付道路、都市計画街路、

南地区道路改修状況を視察することと告げる。

○小学校分校通学道路として、現地見分の結果補め道七路
線より、五日梅原、八日線の北側に沿って、中員四米、五米の道路を設
置することに決まる。

東京都西多摩郡福生町役場

記録責任者

委員会結果報告

町長		役		助		課長		主任		主		席	
年月日		出席者											
昭和三十二年四月三日		委員											
自九時		秋山 謙一											
至一時三十分		石川 信義											
場所		石川 常太郎											
福生町役場第三會議室		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											
		石川 信義											